

資料 3-5

要点審議事業

# 道路事業 事後評価

## 一般国道49号 いなわしろ 猪苗代拡幅

令和7年2月19日  
国土交通省 東北地方整備局

# 1. 事業の目的と概要

## ○事業の目的

- ・混雑緩和
- ・事故減少
- ・観光・地域交流支援
- ・冬期の走行性向上
- ・通行止時(災害時)の信頼性の確保

## ○計画概要

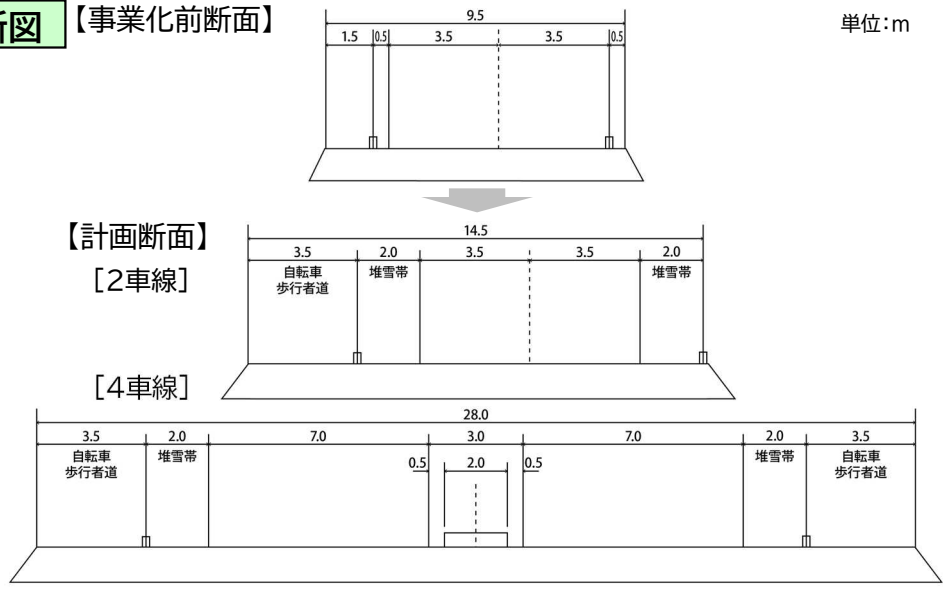
起終点：自：福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字南浜  
 至：福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字中大堰

- 延長：7.3km
- 幅員：14.5m、28.0m
- 道路規格：第3種第2級
- 設計速度：60km/h
- 事業化：昭和63年度(3.1km)
- ：平成7年度(事業延伸4.2km)
- 用地着手：平成元年度
- 工事着手：平成3年度
- 開通年度：令和元年度(令和2年3月31日)

位置図



標準横断面図【事業化前断面】



平面図



①堅田地区(堅田中丸交差点周辺)[R6.10]



②金曲バイパス[R6.9]



# 2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

- ◆ 令和3年度: 道の駅猪苗代 防災道の駅選定
- ◆ 令和3年度: 国道4号 矢吹鏡石道路 新規事業化
- ◆ 令和3年度: 国道4号 鏡石拡幅 4車線開通
- ◆ 令和4年度: 国道118号 鳳坂トンネル(県事業) 開通
- ◆ 令和5年度: 国道118号 小沼崎バイパス(県事業) 開通
- ◆ 令和5年度: 国道294号 福良バイパス(県事業) 一部開通

**凡例**

- : 開通済
- ⋯ : 事業中
- : 前回評価時からの変更箇所

**その他道路凡例**

道路種別

- (赤) : 評価対象区間
- (緑) : 高規格道路
- (紫) : 一般国道
- (黄) : 主要地方道・県道

車線数

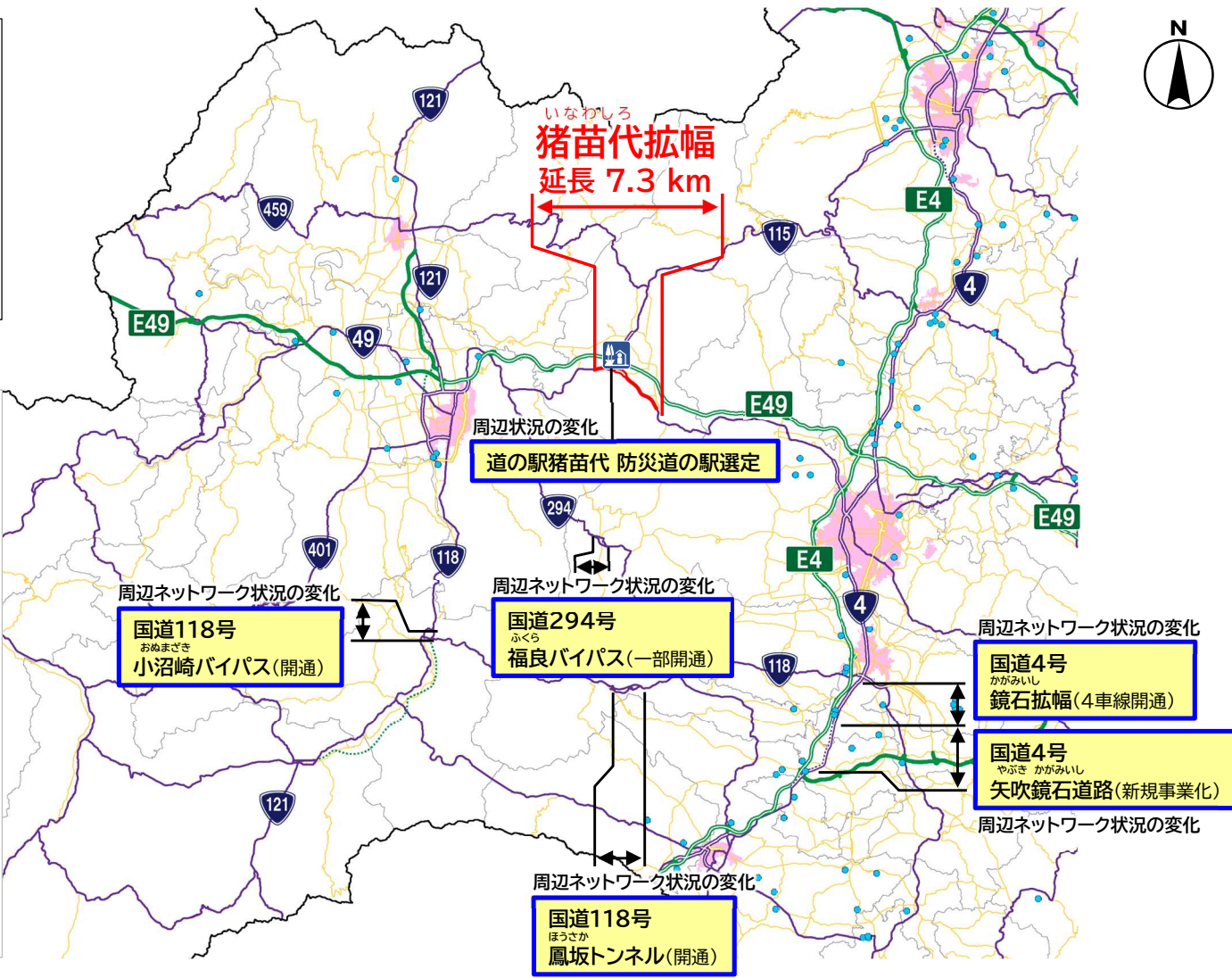
- (4線) : 4車線以上
- (2線) : 2車線

**その他凡例**

- (粉) : DID地区
- (青) : 工業団地



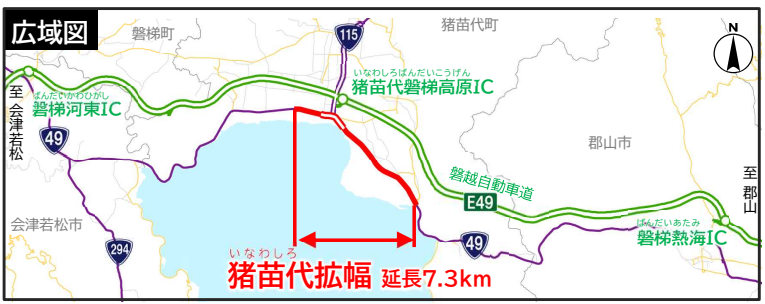
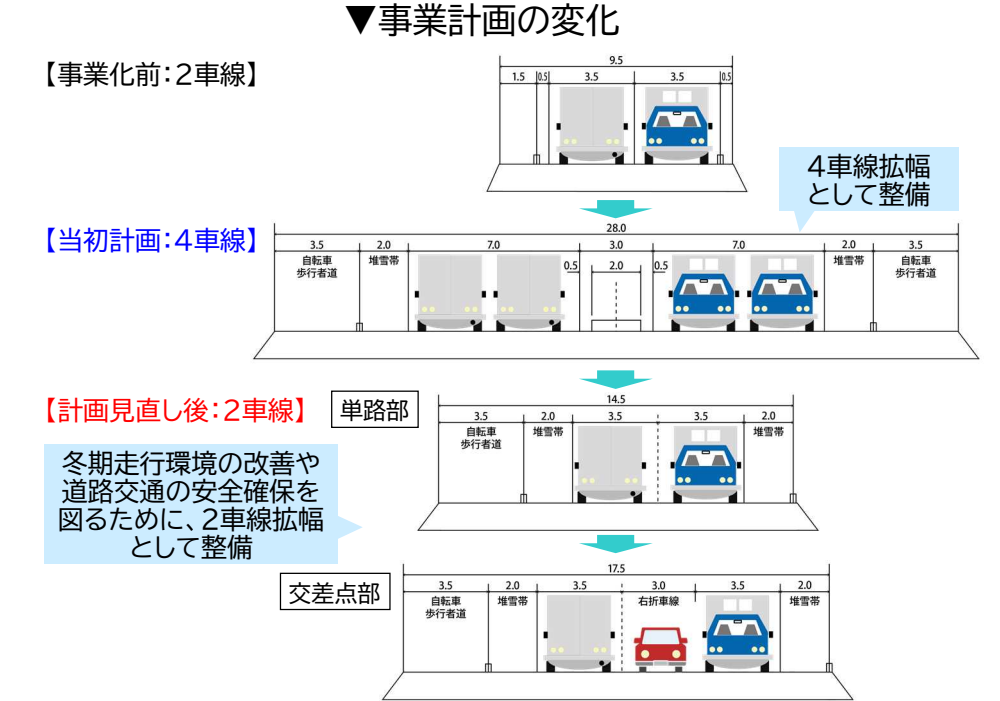
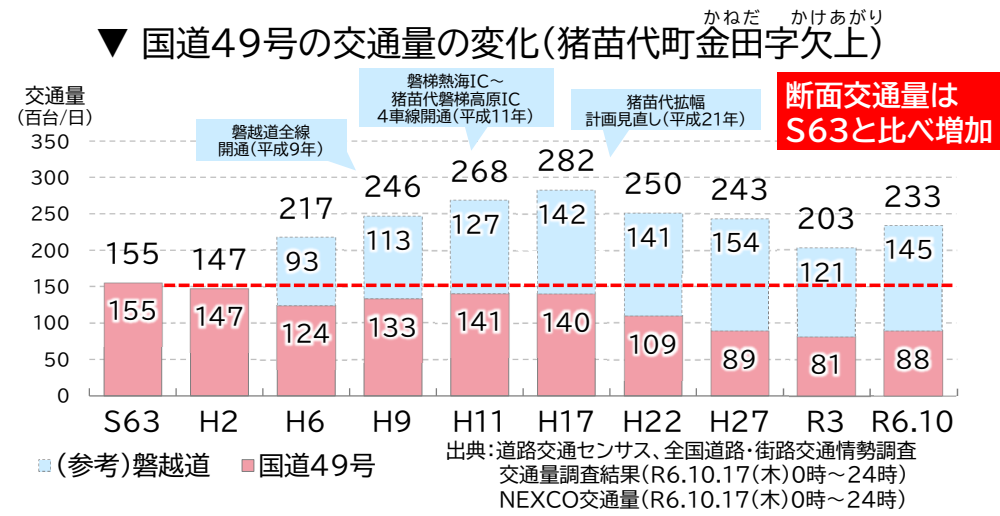
- 道の駅猪苗代の概要**
- 設置者: 猪苗代町
  - 平成27年1月30日に雪・火山に対応した総合防災拠点として、国道交通省が重点「道の駅」に選定
  - 開業: 平成28年11月
  - 令和3年6月11日に国土交通省が福島県内唯一の「防災道の駅」として選定され、防災拠点としての役割を担う



※磐越自動車道: 平成9年10月 全線開通(いわきJCT~新潟中央IC)  
 平成11年4月 4車線区間開通(磐梯熱海IC~猪苗代磐梯高原IC)  
 平成13年10月 4車線区間開通(猪苗代磐梯高原IC~磐梯河東IC)

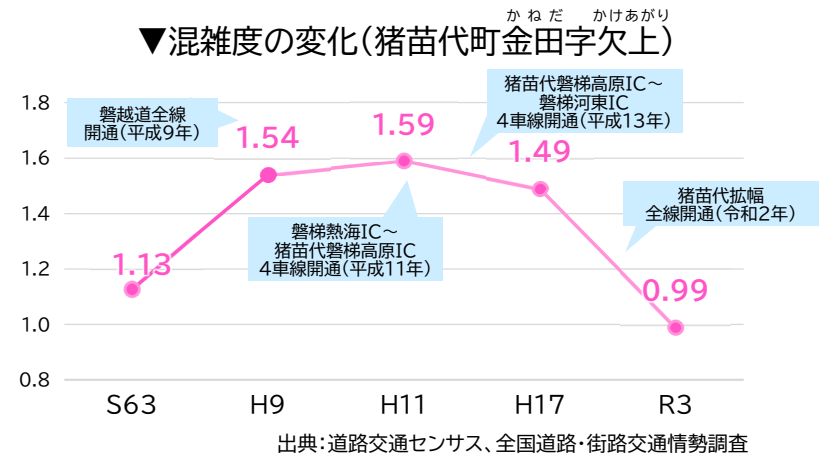
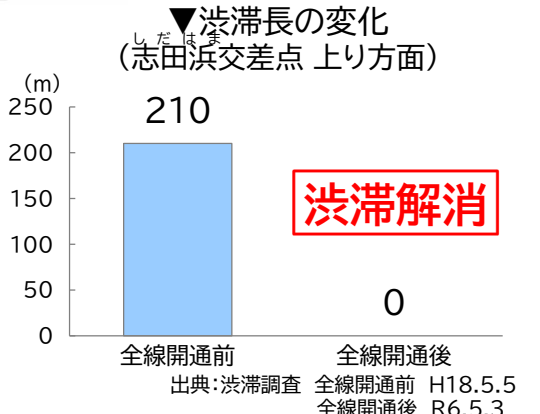
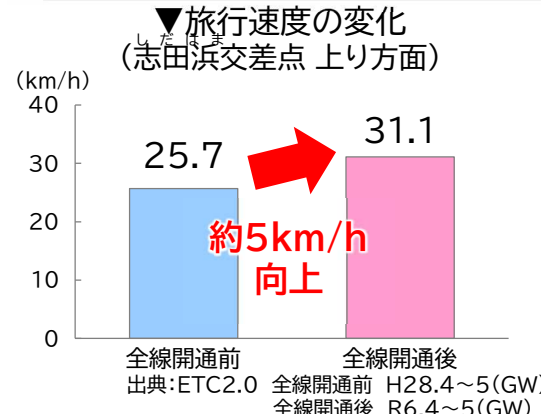
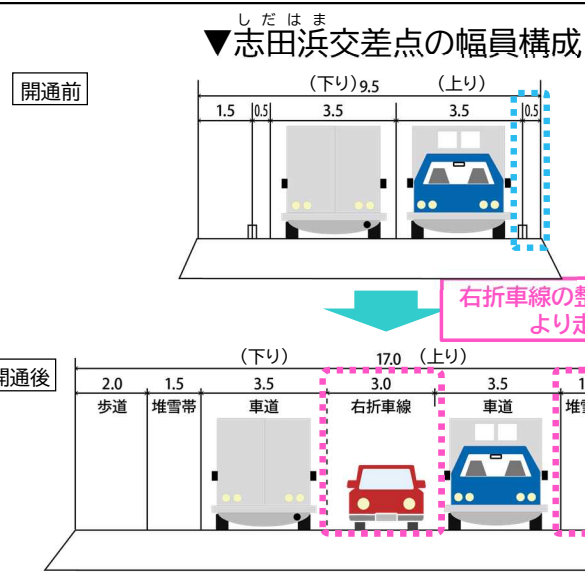
# 3. 交通状況の変化等(1)交通量の変化・事業計画の変更

- ◆猪苗代拡幅事業化時(昭和63年)と比べ断面交通量は増加し、令和6年10月の交通量は約8,800台/日。
- ◆猪苗代拡幅は、当初計画として4車線拡幅として整備。平成21年度以降は計画を見直し、冬期走行性環境の改善や道路交通の安全確保を図るために2車線拡幅として整備。



# 4. 事業効果の発現状況 (1) 混雑緩和

- ◆ 猪苗代拡幅の开通により、事業化当時(S63)と比べ、全線开通後(R3)の混雑度は緩和。
- ◆ 事業化当時、渋滞箇所であった志田浜交差点では、路肩拡幅の他に右折車線が整備され走行環境が改善し、旅行速度は約5km/h向上し、渋滞解消。
- ◆ 猪苗代拡幅の开通により、旅行速度が向上し、渋滞解消による混雑が緩和。



**【道路利用者(物流企業)の声】**

○猪苗代拡幅開通前の観光期は、渋滞が発生し、県道や町道に迂回して輸送していました。開通後は、渋滞が緩和し、猪苗代拡幅区間等の国道49号を主要輸送ルートにしています。

出典: R6.10ヒアリング結果

# 4. 事業効果の発現状況 (2) 事故減少

- ◆ 猪苗代拡幅での平均死傷事故率は開通後で8.0件/億台キロになり、平成12~14年の62.2件/億台キロと比べ約9割減少。
- ◆ 金曲地区の開通により、集落内の通過交通量が9割以上転換し、金曲地区(旧道部)の事故件数は27件から0件に減少。
- ◆ 国道49号猪苗代拡幅の開通により、事故リスクが低下したことで通学時の安全性向上に寄与。

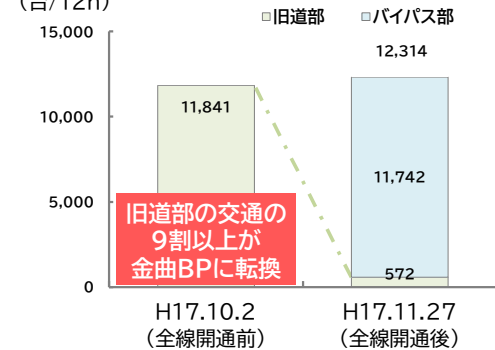
▼猪苗代拡幅区間における死傷事故率の変化

▼金曲地区の開通による歩行者への影響

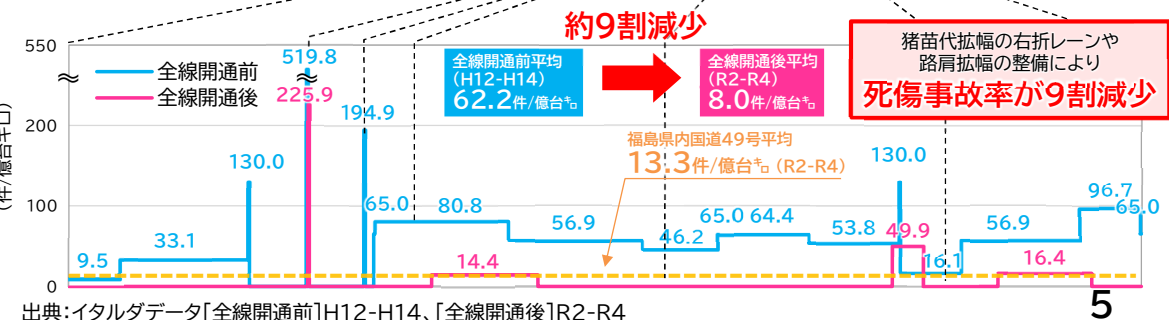
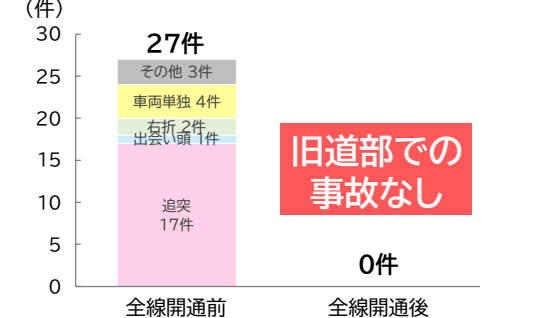
▼金曲地区の旧道部沿道状況の変化



▼交通量の変化(断面A)



▼金曲地区(旧道部)の事故件数の変化



**【学校関係者・道路利用者(物流企業)の声】**

○ 廃校した小学校をスクールバスの集合場所とし、毎朝子供が歩いて集合します。バイパスが完成したことで、昔のような危険と隣り合わせの通学ではなく、安心して通学ができます。

○ 猪苗代拡幅が開通したことで、交通事故の発生頻度が減少し、安全に走行できる環境になりました。

出典: R6.9~10 ヒアリング結果

# 4. 事業効果の発現状況 (3) 観光・地域交流支援

- ◆ 猪苗代拡幅区間の周辺では、歴史・文化やスポーツ・レクリエーションが楽しめる主要観光地が多数点在している。
- ◆ 近年では新たな観光として、自転車イベントや音楽フェス等のアクティビティやイベントが楽しめ、観光客はコロナ禍前の観光入込客数に回復傾向。
- ◆ 猪苗代拡幅開通後、自転車イベントでは自動車や自転車の走行性が高い安全な道路として機能し、猪苗代町の観光・イベントに寄与。

▼猪苗代町周辺の観光地分布状況



▼近年の新たなイベント・観光地(一部抜粋)

名称	カテゴリ	初年度
CYCLE AID JAPAN in 郡山 ツール・ド・猪苗代湖	自転車イベント	2012年
オハラ ブレイク	音楽フェス	2015年
道の駅猪苗代	観光地	2016年

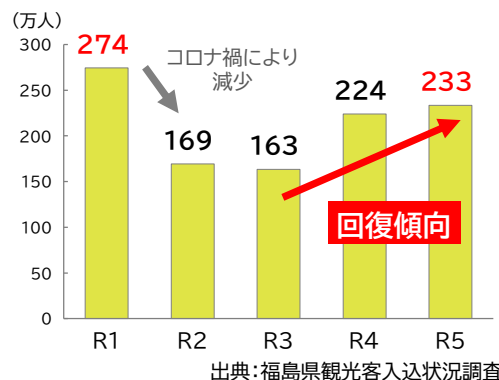
出典：各ホームページ・ヒアリング結果

▼自転車イベントの様子

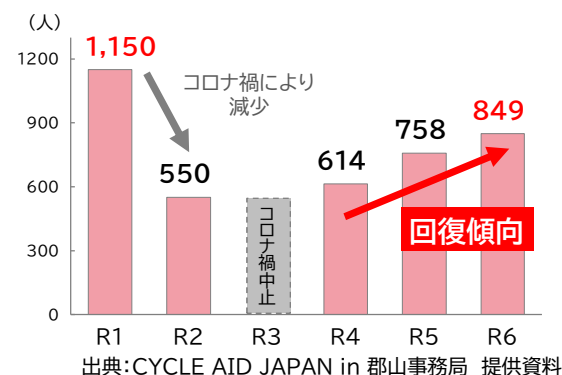


出典：CYCLE AID JAPAN in 郡山事務局 提供資料

▼猪苗代町の観光入込客数の推移

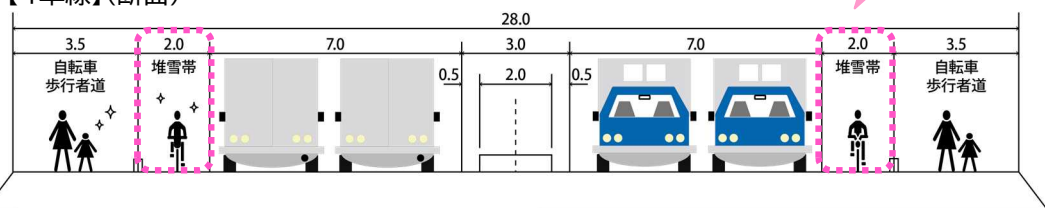


▼自転車イベント参加者の推移



【4車線】(断面)

▼幅員構成



【観光・イベント関係者の声】

○猪苗代拡幅区間は他の道路と比べて、路肩が広く、走行性高い。(観光関係者)

○近年、見る観光から体験する観光に変化し、インバウンドの影響で外国人が猪苗代湖畔のサイクリングコースを走行しています。海外は基本右側走行で慣れない左側走行でも、猪苗代拡幅区間は路肩が広く走行性が高いため、外国人でも安全に楽しく走行しています。(イベント関係者)

○今年度は自転車イベントや音楽フェスが同日開催となったが、猪苗代拡幅区間での渋滞はなく、各イベントの主要ルートとして機能しています。(イベント関係者)

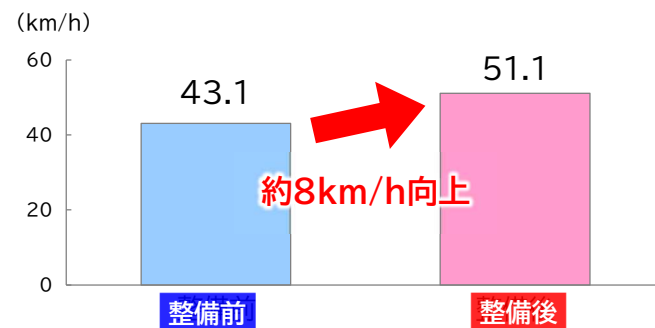
(R6.9~11、ヒアリング結果)

# 4. 事業効果の発現状況 (4) 冬期の走行性向上

- ◆ 猪苗代拡幅区間では、堆雪帯の整備により、積雪時における大型車同士のすれ違い時の安全性が向上。
- ◆ 猪苗代拡幅区間では、堆雪帯の整備により、旅行速度が約8km/h向上し、冬期所要時間のばらつきは約4分短縮。
- ◆ 国道49号猪苗代拡幅区間の開通により、冬期交通の時間信頼性が確保され、走行性が向上。

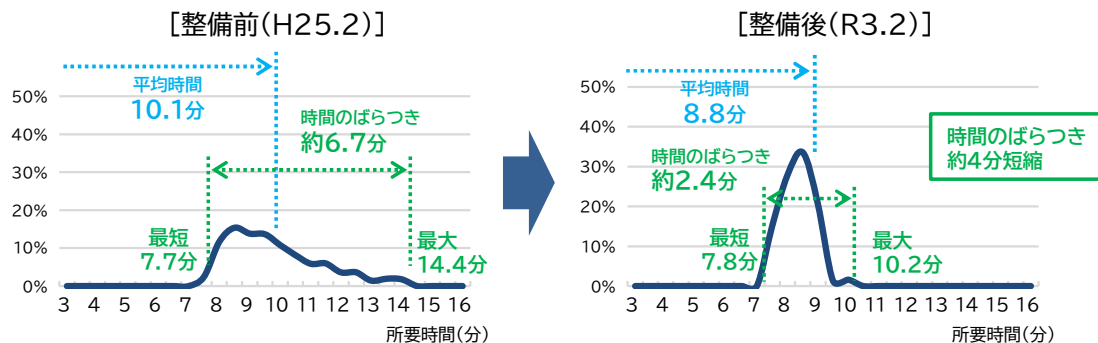


▼冬期の猪苗代拡幅区間(下り)の旅行速度(猪苗代拡幅)



出典: [整備前]民間プローブデータ(H22.12~H23.2)  
[整備後]ETC2.0データ(R3.12~R4.2)

▼堆雪帯整備前後の冬期所要時間の分布状況の変化(猪苗代拡幅)



出典: [整備前]民間プローブデータ(H25.2) [整備後]ETC2.0データ(R3.2)



堆雪帯の整備による車両すれ違い時等の走行環境改善



## 【道路利用者(物流企業)の声】



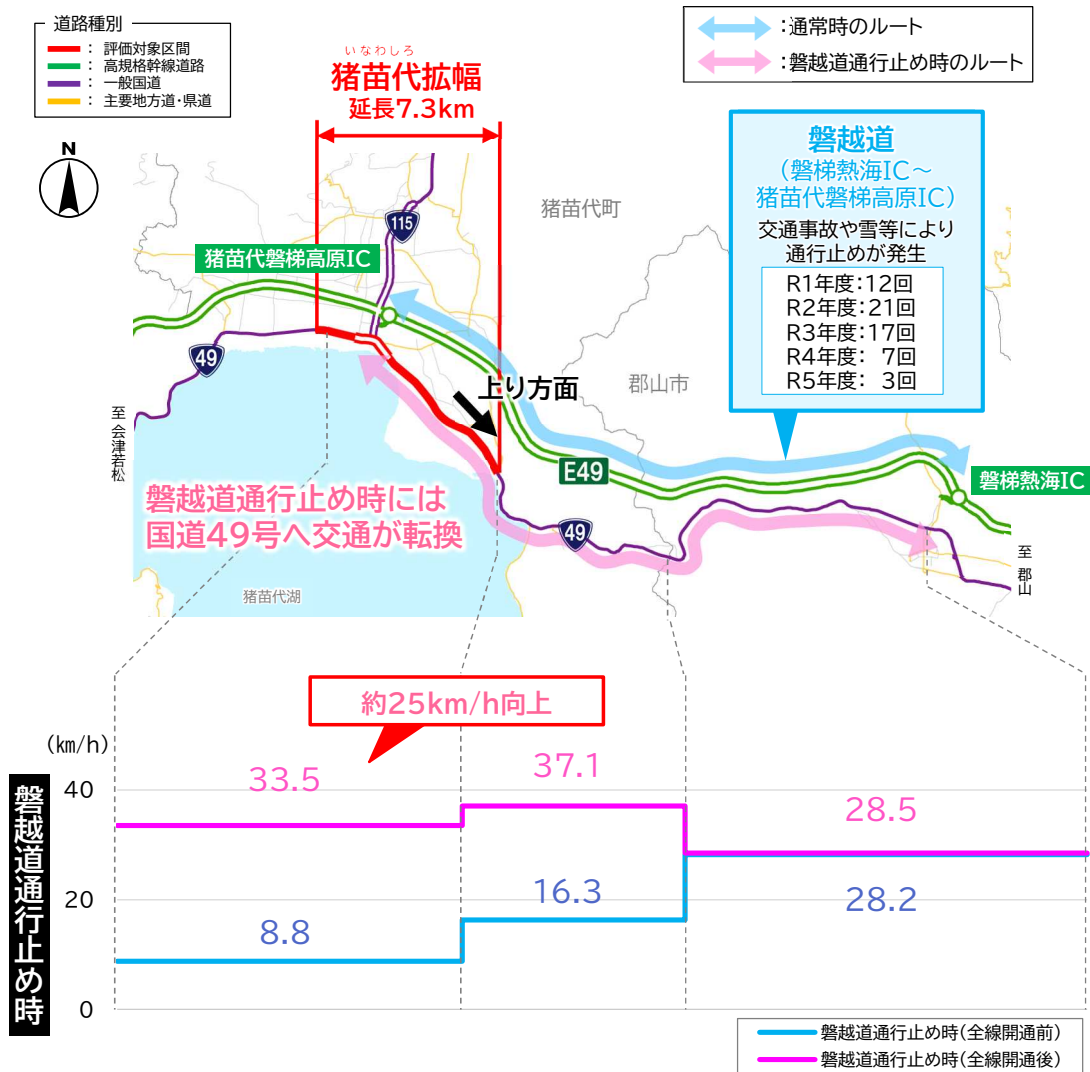
- 拡幅後は、車両のすれ違い時の間隔を広く確保できるようになったので、**接触事故がなくなり、冬期でも安心して走行ができる**ようになりました。
- 猪苗代拡幅の全線開通前は路肩が狭く、故障車による滞留が発生していたが、全線開通後は路肩拡幅されたことによって故障車による滞留がなくなり、**輸送の定時性が向上**しました。

出典: R6.10ヒアリング結果

# 4. 事業効果の発現状況 (5) 通行時(災害時)の信頼性の確保

- ◆ 国道49号と並行する磐越道(磐梯熱海IC～猪苗代磐梯高原IC)では、過去5年間で60件(磐越道で1位)の通行止めが発生。
- ◆ 猪苗代拡幅の開通により磐越道通行止め時は、速度が33.5km/hとなり、約25km/h向上。
- ◆ 猪苗代拡幅の開通により、冬期・天候不順時における磐越道とのダブルネットワークが確保。

▼国道49号(上り)における旅行速度の変化



▼磐越道での通行止め発生回数(過去5年間)

順位	区間	通行止め発生回数
1	磐梯熱海IC～猪苗代磐梯高原IC	60
2	猪苗代磐梯高原IC～磐梯河東IC	46
3	磐梯河東IC～会津若松IC	40
4	会津若松IC～新鶴スマートIC	21
4	新鶴スマートIC～会津坂下IC	21

出典: NEXCO東日本(R1.4～R6.3) ※工事、その他を除く

▼磐越通行止め時の状況(猪苗代拡幅全線開通前)



**【道路利用者(物流企業)の声】**



- 磐越道が通行止めでも、猪苗代拡幅区間は、走行しやすく、輸送時間の遅延も発生せず、輸送への影響はないです。
- 大雪時や磐越道通行止め時に、雪やぬかるみで走行困難な車両がいても、拡幅した堆雪帯に車両を避けられるため、猪苗代拡幅区間での通行止めのリスクは低いです。

出典: R6.10ヒアリング結果

出典: [速度] 全線開通前: 民間プローブデータ(磐越道通行止め時 H25.2.24 12時～16時)  
 全線開通後: ETC2.0(磐越道通行止め時 R4.1.12 12時～16時)  
 [通行止め履歴] NEXCO東日本(R1.4～R6.3)

## 5. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

別添一覧表参照

## 6. 事業実施による環境の変化

評価対象区間については、工事の実施及び完成後も環境への影響は確認されていない。

## 7. 社会経済情勢の変化

「2. 前回評価時からの周辺環境等の変化」を参照

## 8. 今後の事後評価及び改善措置の必要性

事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。

## 9. 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

当該事業の整備目的について効果発現を確認できており、事業評価手法の見直しの必要性はない。